

ひふみのあゆみ

ひふみ投信 ご報告書
2009年2月20日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第1151号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。

今回は、運用責任者から皆さまへのメッセージをお届けいたします。

■ ひふみ 踏ん張る

2月に入って、株式市場はいよいよ米国のオバマ大統領の政策に対する期待から現実に引き戻されてきてジリジリと下げてきています。そのなかでひふみは、先月中に現金の比率を引き上げてより銘柄を厳選したこともあり、何とか下げを最小限に食い止めて、「守りながら増やす」運用を続けています。

■ なぜ日本は世界より売られるの？

2月中旬に発表された日本の10-12月期GDP成長率が、世界各国と比べて非常に悪かったことが判明してから、それまで強かった円が売られ、本来円安だと買われやすい日本株式も同時に売られました。まさに日本売りの様相なのですが、欧米の問題の方が大きいといわれているのに、どうして日本がこんなにひどいのか？それは、ここ数年①米国の過剰消費と②新興国の過剰投資、③円安が追い風となって、日本経済の輸出依存度が以前にも増して高まっていたところに、これら3つの要因が、同時かつ急激に逆に動いたため、その調整がより大きく深くなっているからです。株式市場では、いつこの悪化が終わるのかという議論が華やかです。確かに経済全体の減速は近いうちに終わりが見えてくる可能性が高いとは思いますが。ただ私は、悪化が止まるだけで直ちに成長が始まるわけではないし、長期的な「構造変化」を経てから本格的な成長軌道に戻ると考えています。

では長期的な「構造変化」とは、どのようなもののでしょうか？①高齢化と労働力人口の減少が続く日本では、円高も手伝って、製造業の海外シフトと非製造業の生産性改善の両面から戦後続いてきた輸出依存体質が改善され、内需主導型の経済成長に移行する。それに伴って、働く人々に求められる資質も変化し、雇用を生み出す産業も移っていくと考えています。②モノづくり(製造業)においては、技術の大きな変化のなかで、先進国では付加価値がモノからサービスに移っていくので、仕事の中身を変えなければならなくなるでしょう。また大量に生産されるものは新興国が対象になるので、そこそこの品質で安く提供する、といった大変化が起こりそうです。③主としてサービスを提供する非製造業でも、同じように「技術」と「ニーズ」の大きな変化から仕事の仕方がガラリと変わり、そのなかで成長するのは思いもかけない産業になるかもしれません。IBMのバルサミーノ会長が述べているように、「勝者は、嵐を生き延びた者ではなく、ゲームのルールを変えた者」ということになると思います。そしてまた、このような動きは世界の産業においても同じように起こるし、更には政治のあり方や社会の価値観にも影響を及ぼすことになる「大変化」だと考えており、この時期に現れたオバマ大統領が「Change」と叫んだのは、まさに世界史に残る象徴的な言葉と意味を持つことになるかもしれません。

■ ひふみは そんな進化を先取り

ひふみでは、こうした政治・社会・産業・企業の長期的・構造的な変化を先取りしながら、来るべき新しい成長産業・成長企業を適切に選んで投資することによって、経済全体が少々厳しくても、お預かりしている資産を「守りながら増やせる」ように頑張っています。しばらくは厳しい状況が続くかとは思いますが、是非、暖かいご支援とご理解をいただき、皆さまの資産形成のお手伝いのできれば幸いです。

(ひふみ投信 運用責任者 立田博司)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ 回目のひふみのあゆみではポートフォリオの内容も含め、3月初旬にお届けいたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

ひふみサロン (ためてふやすはじめの一步)

まだ預金しかしたことがなく、はじめの一步を踏み出せないあなたへ。
「こんなこと聞いてもいいの?」「初歩的なことで気が引ける…」など、お金のことに興味はあるけど、セミナーへの参加は気が引けるというお客様にも安心してご参加いただいております。

① 3月24日(火) 19:00 ~ 20:30

ひふみアカデミー (もっと詳しく知りたい)

投資信託の運用や、株式市場、経済に関して、もっと突っ込んで勉強してみたい方のために「ひふみサロン」よりレベルアップした内容となっております。
特に、100年に1度の世界的金融危機以降、今後の経済や市場の動向についての質問が多く寄せられています。ファンドマネージャーの説明もさることながら、参加された他のお客様の意見も参考になるとご好評をいただいております。

① 3月9日(月) 19:00 ~ 20:30 (①「ひふみ投信」を保有されているお客様向け)

② 3月17日(火) 19:00 ~ 20:30

③ 3月25日(水) 15:30 ~ 17:00

場所 : 当社会議室(東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅徒歩4分) <http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

人数 : 各回15名(先着順とさせていただきます)

参加費 : 無料

当社ホームページからお申込みください。 http://www.rheos.jp/hifumifund_ca/seminar.html



レオス・キャピタルワークス(株)のメールマガジン「ひふみ便り」

当社CIOの藤野英人のコラムをはじめ、当社からのお知らせを含めた内容を、隔週で配信しています。

■ お申込みはこちらから

<https://www.rheos.jp/hifumi-tayori/>

■ バックナンバー

<http://www.rheos.jp/magazine/index.html>

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型株式投資信託／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。 (国内の金融商品取引所の売買立会が午前立会のみの日(半休日は11時まで))
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受付のみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用 : ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入資産の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～
コミュニケーション・センター
電話: 03-5214-0123 (平日9時～17時)
メール: cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。